

地域別懇談会 実施報告書

～地域から瑞穂の未来を考える～



平成 28 年 1 月

瑞穂市企画部企画財政課

1. 実施日及び参加者数

	開催地区	開催日	会 場	参加者（人）
第1回	生津小学校区	平成28年 1月18日（月）	瑞穂市郷土資料館 1階 ホール	18
第2回	本田小学校区	1月19日（火）	本田コミュニティセンター 2階 会議室	25
第3回	穂積小学校区	1月20日（水）	瑞穂市総合センター 5階 会議室	27
第4回	牛牧小学校区	1月21日（木）	牛牧南部コミュニティセンター プレイルーム	23
第5回	西小学校区	1月25日（月）	巢南公民館 1階 ふれあいホール	11
第6回	中小小学校区	1月26日（火）	巢南公民館 1階 ふれあいホール	20
第7回	南小学校区	1月27日（水）	巢南公民館 1階 ふれあいホール	30
時間：午後7時～9時 合計				154

（※参加人数には、瑞穂市まちづくり基本条例推進委員会からの参加者を含んでいます。）

2. 当日のプログラム

（1）第1部 総合計画について

- ・ 瑞穂市第2次総合計画の策定状況
- ・ 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ・ 市の現状と課題
- ・ 基本構想（案）について
- ・ 基本計画（案）について
- ・ 質疑応答

（2）第2部 ワークショップ（意見交換）

- ・ テーマ「地域の現状や身近な課題や問題」
- ・ グループ討議（ワークショップ）
- ・ 全体発表

3. 地域別実施状況

第1回 生津小学校区（1月18日（月）開催）

参加者からの意見

- ・ 4月からの計画なので、市民が考える余裕がなさすぎるのではないか
- ・ 市民参画のパフォーマンスにしかっていない
- ・ 第1次総合計画の総括はなされていないので、第2次総合計画を提示するのはおかしい
- ・ 地域別懇談会の説明で十分と考えるのなら納得できない
- ・ 公共下水道事業が重点施策になっているが、市の財政が大丈夫か心配
- ・ 計画的な事業展開をすべきであり、さまざまな方法を検討すべき
- ・ 公共下水道事業を重点施策は、市民の40%強が合併浄化槽になっている状況で計画を進めて良いのか市民参画で議論すべき
- ・ 認知症対策について、単に対策の推進と済ますだけの課題ではなく今後確実に訪れることとして捉え対策を講ずるべき
- ・ 市民の参画を推進するのなら、もっと具体的な課題や問題を市民に問いかけるべき
- ・ ホームページからの意見募集などで、市民がどれだけそれを見ているのか把握しているのか疑問。
- ・ 参加人数を見たとき、それぞれの地区で人が集まるような機会などを捉えるなど参加人員を確保しないと、ただ集まってくださいと言ってもなかなか周知できないのではないか
- ・ 郷土資料館が利用されることがこれまでほとんどなかったもので、各地域の総会などに市が出かけて行き説明させてもらうなど、もっと寄り添っていかないといけない
- ・ 「持続可能な都市経営のまち」とあるが、施策がたくさんあるなかで財政との関係が理解できない
- ・ 具体的な数値目標がない施策はいつまでにそれができるか分からないので、計画としておかしい
- ・ 市民議論が足りないので、時間をかけて計画を練り直してはどうか

■ワークショップ（まとめ）

（グループ1）

●消防団員の確保（課題）

- ・ 消防団への加入趣旨などの説明が必要
- ・ 若い方の自治会加入

●自治会に入らない方への対応（課題）

- ・ 若い方とのコミュニケーション、祭りへの参加など
- ・ 広報の配布
- ・ 魅力ある自治会活動が必要
- ・ 地域のデータを参考に話し合う
- ・ 特徴を活かした自治会活動を考える

（グループ2）

●地域コミュニティの形成、自治会機能の充実（課題）

- ・ 生津地区の現状（元々住んでいる人、新しい人の2種類）
- ・ 地域との関わりが薄い
- ・ 地域のコミュニティの形成
- ・ 行政の仕事には限界がある、地域住民一人ひとりが考えていくべき
- ・ 何をしていくべきかははっきりしていない
- ・ 取り組み体制を作っていくことが第1歩
- ・ 話し合いの機会をつくって続けていくことが大事

（グループ3）

●市民参画のまちづくり（課題）

- ・ 市民の参加・参画が進んでいない
- ・ 情報の提供の仕方が問題、伝わっていない
- ・ 市民意識の問題がある
- ・ 市民の自主自立に向けた取り組み
- ・ 瑞穂市はそこそこ住みよいまちなので、危機感がないのでは
- ・ 地域のなかでの絆づくり、仕組みづくりが必要では
- ・ 市民参画の相談室が欲しい
- ・ サイレントマジョリティへのアプローチ
- ・ 市民の受け止め方と行動

(第1回 生津校区懇談会のようす)



第2回 本田小学校区（1月19日（火）開催）

参加者からの意見

- ・市民の意見は参考程度にしか聞いてもらえず取り上げてもらえていないので、第2次総合計画でも一般住民の意見を吸い上げていないのではないのか
- ・本当の住民参画組織はできないのか
- ・難しい仕組みでなくオープンな形で議論ができないか
- ・市民検討会議28名のメンバーで一般市民は何名いたのか
- ・高齢者福祉は高齢者の活動ではないのか、活用施策があれば教えてほしい
- ・地域福祉ケア、包括ケア、社会福祉協議会の事業など行政側の連携がとれていないのではないのか
- ・福祉やボランティア活動を草の根まで浸透させていく活動が繋がっていない
- ・基本目標3 具体的な構築方法は難しい
- ・コーディネートできる人材を育てる、意見交換できる場づくりが必要
- ・認知症を知る、介護予防への理解、受け皿への理解が必要
- ・将来ビジョンを示し、それに向けたコーディネート体制を構築してほしい
- ・第2次総合計画、第1次の総括はどうなっているのか
- ・絵に描いた餅にならないように
- ・公共下水道の財政計画はあるのか、総工費は初期投資だけで維持費はどうか

(第2回 本田校区懇談会のようす)



■ワークショップ（まとめ）

（グループ１）

- 下水、駅、都市計画、予算、交流、助け合い、市民参加（課題）
 - ・情報提供の充実、出前講座、まちの課題のテーマを示すべき

（グループ２）

- 地域生活環境の維持、バス、自治会（課題）
 - ・側溝掃除が大変、今後厳しいだろう
 - ・下水を早く整備してほしい、水路の管理が大変
 - ・本田コミュニティセンターにネオン看板がない
 - ・コミュニケーションの場を作してほしい
 - ・バスは休日運行していない、困っているおり交通難民になっている
 - ・本田校区の自治会は機能している
 - ・自治会と行政のコミュニケーション不足があるのでは

（グループ３）

- 瑞穂市の課題（課題）
 - ・市に名物がない、駅前に看板を設置し、良い面のキャッチコピーでPRする
 - ・有効な土地活用がなされていない
 - ・若い方が多いが転入者にとって何が良いのかをリサーチしてみる
 - ・住みやすさのPR不足があるのでは
 - ・税収を増やす（企業誘致、学校誘致、人を集めること）
 - ・観光ではお金は落ちないのでは？
 - ・朝日大学を利用すれば人が増える
 - ・警察署をつくってほしい
 - ・駅前や駅周辺の駐車場が最大の問題、駅の近くにいろいろな施設を集める方向性は？
 - ・空き家を新婚者に貸したり分譲しては

（グループ４）

- 子育て環境、自治会運営（課題）
 - ・問題意識の共有、聞いて、話し合うことが大事
 - ・子育て環境の充実、公園の整備、安全な居場所がない
 - ・待機児童の解消や問題を抱えた子どもへの対応充実が必要
 - ・コミュニティの希薄化、まちづくりの参画が必要
 - ・自治会に参加していない人が多い
 - ・運営構造の問題、若い人が集まる機会を捉えて勧誘する
 - ・投票率が低い、政治に関心が低い、それだけの情報が与えられていない
 - ・近所づきあいが少なくなった、世代をつなぐ場がない
 - ・自治会ごとに状況が違い高齢化率が高くなっている
 - ・インフラの整備、市内に高校がない、道路・駅前、バス
 - ・近所のスーパーがなくなった

第3回 穂積小学校区（1月20日（水）開催）

参加者からの意見

- ・まちの将来像「誰もが未来を描けるまち」で、今の日本では多くの方が未来を描けない状況と言われましたが、高齢化、人口減少、財政、年金、医療、そういった部分が皆さん心配
- ・計画で掲げているすべてのことを網羅すべての施策を進めることができれば、未来は描けると思いますが、厳しい財政状況のなかで、どのような未来を描くかが計画になる
- ・「総合」という言葉は、これからの時代になじまない
- ・すべてを網羅して掲げ、それを計画として出す、そんな形だから、絵に描いた餅でも良いのではないかというように見えてしまう
- ・本当に危機感があるとすれば、「持続可能な都市経営」の部分が重要に絞った計画でも良いのではないか
- ・瑞穂市は将来人口密集都市にしたいのか、田舎的なまちにしたいのかどちらなのか
- ・密集地と集落が分かれており、公共下水道事業の方法を勉強していないので研究してほしい
- ・子どもを育てるのにお金がかかる
- ・晩婚化が進み今後人口は増えない
- ・食料難になるので、自給率を上げる必要がある
- ・富有柿で採算がとれるのか、柿農家も減ってくる
- ・施策が貧困、儲ける産業を取り入れないといけないのではないか
- ・瑞穂市に産業はあるのか、柿や歴史では人はこない
- ・仕事が重要、まちに魅力がないのでは

■ワークショップ（まとめ）

（グループ1）

- ・財政の収入の問題
- ・自治会ごとの意識の違いにより、格差が生じている問題
- ・朝日大学周辺の問題、大学の活用
- ・新しい学科、学生を増やすこと
- ・看護学科を活用して、大学病院を大きくれば雇用が広がる
- ・自治会活動、高齢者の活用
- ・賑わい、交流できる場所が必要

（グループ2）

- ・駅周辺の問題、通勤時間混雑、違法駐車環境を整えて欲しい
- ・バスの本数がない、使っていない
- ・増やすと利用者増える、通勤環境を整える
- ・自転車の通学、歩道の整備をしてほしい
- ・駅周辺の計画が必要
- ・自治会、町内会、人つながりが希薄、防災で必要では、心配
- ・アパートの増加、自治会未加入者の、大家、近所さんからの呼びかけ、広報を配って勧誘
- ・コミュニケーション、イベント、祭りと良い、集まる場所がほしい
- ・土地利用計画がまとまっていないのでは

（グループ3）

- ・インフラ、ハード、駅周辺の交通渋滞、解決策はない、問題意識はある
- ・公共下水道、市民は実情を知らない
- ・空き家対策、有効活用
- ・少子化問題、若い世代へのアシスト、育児相談、待機児童、保育士の確保、公園の機能
- ・現実的に解決すべきことがあるのでは
- ・結婚しない、減っている
- ・少子化が進んでいる、子育てへのアシストが鍵
- ・痴呆が増える、在宅介護の問題
- ・介護・医療費の増嵩問題
- ・対応していくためには、お金が必要
- ・持続可能な財政基盤を見ながら、クリアしていくべき

（グループ4）

- ・駅周辺の道路が危ない、通学路の安全確保
- ・朝日大学のスクールバスは車が減り効率的

- ・下水道より新駅を税収が増える
- ・楽しいまちにしてほしい、夏祭り、大学祭りのジョイント、ボウリング場の利用
自治会リレーの大会開催、市政15周年記念の祭りの開催、朝大利用
- ・総合計画の施策の進め方が見えない（説明不足）

（第3回 穂積校区懇談会のようす）



第4回 牛牧小学校区（1月21日（木）開催）

参加者からの意見

- ・まちづくり基本条例の理念に沿った取り組みとして、まちの課題やこれからの取り組みなどを地域の皆さんと一緒に考える機会として、地域別懇談会を開催するとされていますが、実際の計画は平成28年度からということで、あと2ヶ月しかありません
- ・非常に幅広い項目の施策を市民が参画して一緒に考えていきたいと思いますということが実際にできるでしょうか。アリバイ作りではないかという感じがします
- ・市のホームページでは、第2総合計画（案）の制定日付が平成28年3月となっており、現在は1月では
- ・27年の5月8日全協議会、まとめの報告、その間にやることがあったのでは
- ・公共下水事業が重点施策になっており、公共施設等の維持管理もあると思うが実際に予算化されているのか
- ・公共施設の維持管理は、白書では40年間で620億円、15.5億/年かかるのでは
- ・総合計画で予算の数字が出ていない、数字がなく文書だけでは分からない
- ・去年の11月15日、議員報告会、意見交換会でも質問
- ・後どうなったか分からない、瑞穂市の高齢化率、20%以下、牛牧団地、40%くらい
- ・大垣から岐阜までのバスを復活、コミバス3,000万円かかる
- ・病院建設計画がない、岐阜市や大垣市はたくさんある
- ・有料でいいから病院行きの広域幹線バスを走らせてほしい
- ・団地は、子どもが出て行って核家族化しており、移動の足がない人が多い
- ・買い物も車、いずれはバスが必要
- ・その後どうなったかわからない、今後の見込みを教えてください

（第4回 牛牧校区懇談会のようす）



■ワークショップ（まとめ）

（グループ１）

●公共下水道事業、ゴミ、バス（課題）

- ・瑞穂市と議会の性質に憤りを感じる。白紙撤回を求める
- ・合併浄化槽、他市の事例、財政事情の公表をすべき
- ・コミュニティバスの本数が少ない、総合病院がない、停留場の変更
- ・ゴミを燃やすこと、モラル、行政指導をしては、ゴミの分別、リサイクル化も
- ・教育への力の入れ方が重要
- ・子どもの安全に遊べる場所、木がある公園がほしい
- ・瑞穂市独自の教育への転換、知識型教育から道徳教育が重要、働き方の変化も必要

（グループ２）

●高齢者の買い物など移動（課題）

- ・買い物支援も十分ではない、病院など高齢者移動手段が大きな問題になっている
- ・バスが大きすぎるのではないか、小さいバスにしてはどうか
- ・一人暮らしの高齢者が増えてきたのでサポートが必要
- ・必要な人に必要な情報が行き届いていない、広報が下手
- ・行政側へ上手く意見を伝えていないのでは
- ・自治会が個人情報を集めることが難しい

（グループ３）

●福祉、インフラ、学校教育、人材確保（課題）

- ・市内に総合病院がない
- ・学童保育拡大、給食費の無料化、高校が必要では
- ・駅へのアクセス、駐車場、道路、駅周辺の整備が必要
- ・下水道が完備されていない
- ・自治会の人材確保、消防団員の確保に悩んでいる
- ・消防団の必要性への理解が進んでいない
- ・消防団員確保について、自治会にまかせではなく、市も関心を高めるPRをしてほしい

（グループ４）

- ・そもそも論、ワークショップ、基本計画の件、地域の現状、なんともならない
- ・本来の目的である総合計画についての議論が必要では

第５回 西小学校区（１月２５日（月）開催）

参加者からの意見

- ・総合計画の計画期間が１０年というのは、長すぎるので、５年ごとに見直すなどの工夫をされてはどうか
- ・計画や施策を説明してもらっても、一般市民では理解できないと思う
- ・まちづくりは市民が主体と言われるが、市民には子どもからお年寄りまでいろいろな方がおり、仕事を持っている方などその状況はさまざま、普段から行政に関わりがない方が多い。行政として公務員が市民を頼りにしているようではいけない、行政が自分で考えてまちづくりを進め責任を持ってもらわないと困る
- ・バスの充実施策があるが、バスには乗らないと思う
- ・消防団員の確保とあるが、地域の消防団はいらないと言う人もいるので、計画としてやらなくても良いのではないかと、お金の無駄遣い
- ・消防署にお金をかけているので、消防団が火事場きた場合、狭い道路などで消防署の車が入ってこれないことがありかえって邪魔
- ・消防団がなくても良いまちをつくってもらわないといけない
- ・小学校区別人口は、長い目でみればあまり意味がない
- ・行政のプロが市民からのアイディアに頼っていてはだめだと思う
- ・第２次総合計画の主たるものは何か？・今までの延長の施策もはあるのでは
- ・人口を増やすことが目的ではないので、駅を作るとかそういった発想が必要
- ・まちなかに緑がないので、潤いがある環境のまちづくりをやってほしい
- ・市庁舎を中心地に移すことも検討に加えてほしい

■ワークショップ（まとめ）

（グループ１）

- ・新駅構想は旧巢南特有の問題
- ・インフラについては、鷺田橋東側の景観、活用、下水道
- ・岐阜巣南大野線の早期整備
- ・新駅ができれば、地域活性化に役立つ
- ・まちづくりに子どもや女性、中学生などの意見を取り入れる
- ・農地の集約化
- ・消防団の廃止

（グループ２）

- ・独身の男性が多い、独身女性は男性を探している
- ・農業者の高齢化、農業収入が減少し後継者がいない
- ・大月の土地活用、このままではもったいない。お金をかけない多目的広場を作っては
- ・大月の土地の整備は、さまざまな確執があるのでは、対話が必要
- ・農業の将来への不安があり、総合計画からは未来が見えない。行き詰まりが見える
- ・市全体で市民が話題にして、考える仕組みづくりが必要
- ・婚活は人口減少対策として期待している

（第５回 西校区懇談会のようす）



第６回 中小学校区（１月２６日（火）開催）

参加者からの意見

- ・第２次総合計画前に第１次総合計画の総括がないと思いますが、いろいろな問題点についての総括はどのようになされたのか
- ・前市長のマニフェストの評価は誰がどのようにしたのか、市長自身でしたのか、市が客観的に評価したのか

（第６回 中校区懇談会のようす）



■ワークショップ（まとめ）

（グループ１）

- ・中山道のブランド化が必要
- ・子育て環境の充実、インフラ整備が必要
- ・地域に人が増えないので、観光客を呼びにぎわいを生み出す
- ・観光ＰＲができていないので、旅行会社と手を組んだりしては
- ・高齢化が進むが、１２０年間続く富有柿を守っていく
- ・柿にシールを貼って、ハロウィンに使うアイデア
- ・道の駅の整備、「瑞穂駅」への駅名の改名
- ・健全な財政運営として、小さい企業を誘致しては

（グループ２）

- ・美江寺近郊はイベントが多すぎる（年１０回以上）サラリーマンではできない
- ・担い手がいなのに、市の観光資源になっていることが矛盾している
- ・穂積駅に賑わいが無い
- ・コミュニティバスを通勤者の足にして、みんなが使うようにしてはどうか高齢者が外に出る健康にもなる
- ・高齢者は仕事につきにくい、シルバー人材センターの活用を
- ・ボランティアなどの組織が少ない
- ・一人暮らしの高齢者では家の管理ができない
- ・後継ぎが定年後に農業をする場合は、定年になるまで親が農業をやらなければならない
- ・農地転用ができない、農地の集約も苗場など集約しにくい農地がある
- ・航空産業の誘致をしては
- ・大月の土地に市役所を作っては
- ・新しい住民とのコミュニケーションがない
- ・自治会や町内の役員が順送りになっている

（グループ３）

- ・地域の文化、中山道、美江寺宿、呂久の祭りを市の事業として一体的に大きくしては
- ・イベントに若い人の参加を、婚活イベントも加えては
- ・人口を５５，０００人にするには、まちの魅力と安心な暮らしが必要
- ・穂積駅の活性化がキーポイント
- ・将来見通しが無い、瑞穂市の真ん中にまちをつくる、新しい発想が必要
- ・ふれあいフェスタのシャトルバスルートを考えてほしい
- ・高齢者対策、高齢者活用、移動はタクシーの利用、高齢者同士の連携、グループ化などを考える

第７回 南小学校区（１月２７日（水）開催）

南小学校区

- ・計画策定に際しては過去の反省があるはずで、それをまとめ、補ったものになっているはずですがそれはあるのか、仕事を進めるにあたってはＰＤＣＡが必要だと思う
- ・総合計画という大きな事柄を懇談会の１時間で話し合うことは難しい
- ・駅などの施策の具体的な方向性や中身はどうなるのか
- ・計画の表現が納得できない、誰がいつどれだけの必要では。それが無いと実施できないはず
- ・総合計画の見直しについてはどうなるのか
- ・地方創生は国の政策であり、瑞穂市がやらなければいけないのか、本当に国も市も人口維持できるのか、国が言っているからと言って、同じようにやるのか
- ・瑞穂市として何をしたいのか、増収を図るべきとでそれが無いと発展しない。土地を確保して、企業を誘致するべき
- ・総合計画はボリュームがありすぎて、理解しにくい
- ・まちづくりの目標は１０年間かけて達成するものだが、年次でブレイクダウンされているのか
- ・物理的な満足度、こころの満足度の両方が必要ではないか
- ・地域人口の差があり、各地域の中でも少子高齢化が進んでいるところがある
- ・地域格差が生じているので、全市的な課題の共通施策ばかりでは地域によってリスクがある

■ワークショップ（まとめ）

（グループ１）

- ・新駅をつくっては、樽見鉄道に接続し区画整理
- ・バス停を住宅の近くに
- ・将来を見据えた計画を立ててほしい、真剣に考えてほしい
- ・下水道の早期開始はいいが、浄化槽のほうが管理費が安いのでは
- ・下水のPRをもっと普及しないといけない
- ・通学路、歩道、横断歩道などの計画性がない、計画をしっかりと立てて実施する
- ・子どもたちが安心して通学できる環境が必要
- ・南小学校の整備改修などは長期的展望を持って計画してほしい
- ・市内の祭りの宣伝が足りていない
- ・旧穂積と旧巢南の壁を取り除いてほしい
- ・市内の祭りを１つまとめては

（グループ２）

- ・市民への情報発信が不足している
- ・ほづみ幼稚だけ送迎バスがある
- ・健全財政が必要
- ・若い人の話し合いの場が必要、地域別懇談会を自治会や若い人が集まるところで実施しては
- ・消防団は必要だが、消防団員の若い人は昼間まちにいない。
- ・避難情報、防災無線、高齢者対策などに不安がある、今は災害がないからなのでは
- ・市内自治会の運営に統一感がない
- ・公共施設公園のトイレが使えない、市の公共施設がまちの外れにある
- ・駅の待合が寒い、風よけを付けては
- ・コミュニティバスは通勤や通学に使えない
- ・歩道が整備できていない

（グループ３）

- ・瑞穂市は水害が多く不安がある
- ・避難ルート、避難所の体制がはっきりしていない特に水害の場合
- ・下水道事業がどのようになっているか分からない
- ・財政などの全体計画が市民に伝わっていない
- ・空き家を活用しては
- ・計画を進めようとするが財政が心配不安
- ・「むかい地蔵」のテーマが残っている
- ・財政の問題が心配

（グループ４）

- ・自治会行事が多い、役員がいらない
- ・消防団員が集まらない、若い人が参加しない
- ・南地区では若い人との交流はできている、新しく入ってくる人に違和感はない
- ・防災無線が聞こえない
- ・避難所、防災面が不安
- ・子育て環境として保育園や学校が小さい
- ・学校大きくしても、バランスを考えて
- ・計画的な道路整備を、行き止まりや路上駐車の原因となる
- ・コミュニティバスの本数が少ない、移動手段がない
- ・まちナンバー１はを作るべき、地域ブランドをつくる

（第７回 南校区懇談会のようす）



4. 地域別懇談会アンケート集計結果

●アンケート回収数

生津	本田	穂積	牛牧	西	中	南	合計
12	15	18	14	4	12	21	96

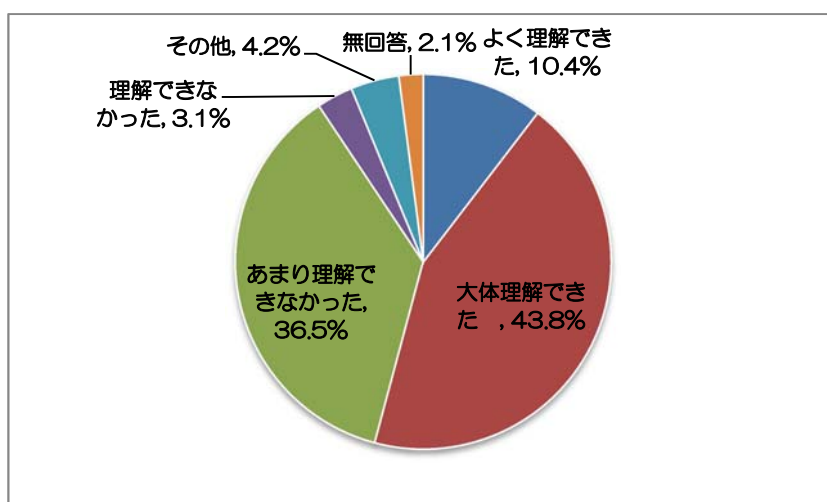
●アンケート集計結果

問1 地域別懇談会に参加した満足度は？

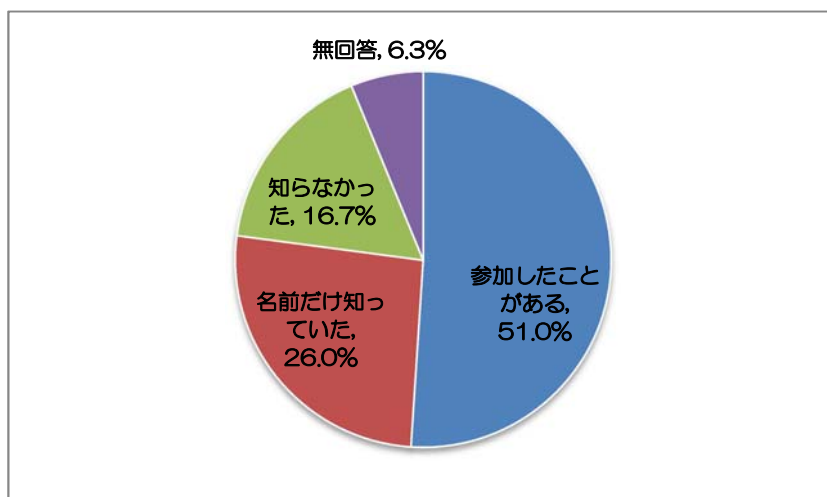
(%)：各校区は平均値

生津	本田	穂積	牛牧	西	中	南	全体平均
56.3	74.4	54.4	38.7	58.3	66.8	52.6	56.8

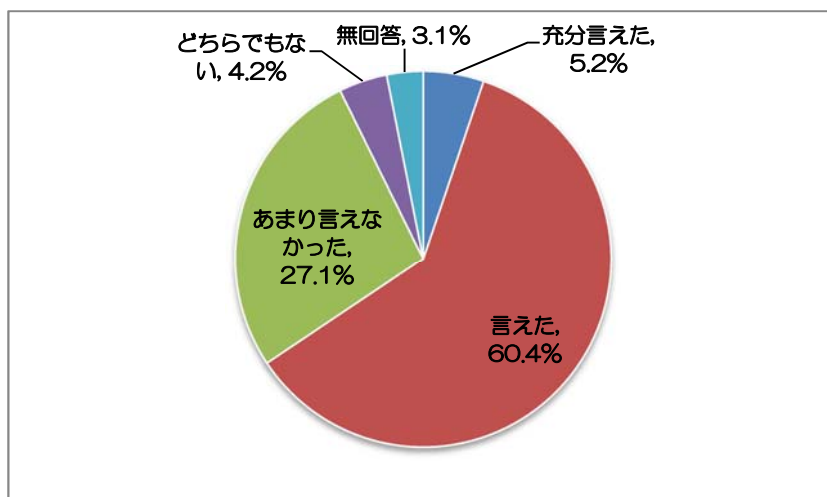
問2 瑞穂市第2次総合計画（案）について理解できましたか？



問3 「ワークショップ」という対話の手法をご存知でしたか？



問4 本日は、思ったことは言えましたか？



問5 今後、参加されたいまちづくりのテーマ

- ・公共下水道・駅・都市開発・企業誘致・防災・自治会・まちづくり・市民参画
・公園や人が集まる憩いの場・防犯・財政・子ども・将来ビジョンなど

「地域別懇談会」アンケート

本日は、お忙しいなか、ご参加いただきありがとうございます。
本日の地域別懇談会について、ご感想をお聞かせください。

該当する箇所に□印、またはご記入をお願いします。

問1 本日まで参加いただいた満足度を教えてください。

_____ %

問2 瑞穂市第2次総合計画（案）について理解できましたか？

☐ よく理解できた

☐ 大体理解できた

☐ あまり理解できなかった

☐ 理解できなかった

☐ その他（ _____ ）

問3 『ワークショップ』という対話の手法をご存じでしたか？

☐ 参加したことがある

☐ 名前だけ知っていた

☐ 知らなかった

問4 本日は、思ったことを言えましたか？

☐ 充分言えた

☐ 言えた

☐ あまり言えなかった

☐ どちらでもない

問5 今後、参加されたいまちづくりのテーマがありましたら、お聞かせください。

今後、市民の皆様から今回のようなご意見をいただく場（ワールドカフェやワークショップなど）の開催を予定しておりますので、そういった機会にお声かけ（文書などで通知）させていただくことを承認いただける方は、住所・氏名・連絡先をご記入ください。

住 所 _____

氏 名 _____ 連絡先（ _____ ） - _____

ご協力いただき、ありがとうございます。

地域別懇談会資料

地域別懇談会

～地域から瑞穂の未来を考える～

平成28年1月18日～27日
瑞穂市



地域別懇談の目的

【開催趣旨】

新たなまちづくりの指針となる、総合計画の策定に当たり、地域住民の皆さんの意見交換の場を通して、市民と行政が共にまちの未来を考え、まちづくりを進めていくことを目的に開催します。

【懇談会の内容】

- 瑞穂市第2次総合計画（案）の説明（第1部）
- 質疑応答（5分程度）
- ワークショップ形式での意見交換（第2部）
- 全体発表

第1部

総合計画について

瑞穂市第2次総合計画

◎ 総合計画とは・・・

将来における市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的指針

◎ 瑞穂市の総合計画

瑞穂市第1次総合計画（現行計画）

期間 平成18年度～平成27年度

瑞穂市第2次総合計画（次期計画）

期間 平成28年度～平成37年度

まちの将来像

◎ 第1次総合計画では・・・

「市民参加・協働のまちづくり」

～市民と行政が一体となったまちづくり～

◎ 第2次総合計画では・・・

社会情勢や人口増加を続ける市の現状を踏まえ、市民と行政がこれからの新しい時代の目標を共有し、信頼関係を構築しながら、本市の地域特性や資源を活かした魅力あるまちづくりを進めるための新たな総合計画の策定を目指す。

《瑞穂市第2次総合計画策定方針より》

まちの将来を

共に考えていくために・・・

◎まちづくりの基本的な考え方やルールである「瑞穂市まちづくり基本条例」に基づく市民参画の推進

(市民の権利及び責任)

第5条 市民は自らの意思と責任において、広くまちづくりに参画します。・・・

2 市民は、まちづくりに関し、自らの意見を表明し、及び提案する権利を有するとともに、必要な情報を知ることができます。

3 市民は、まちづくりに参画するに当たり、相互の多様な価値観を認め合い、自らの発言と行動に責任を持ち、まちづくりに努めます。

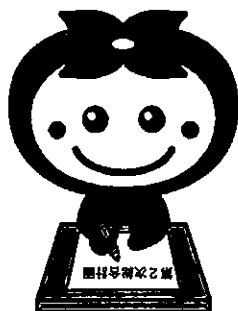
《瑞穂市まちづくり基本条例より》

第2次総合計画での市民参画

- ◎ 総合計画策定審議会
- ◎ 市民アンケート
- ◎ ワールドカフェ
- ◎ 市民検討会議
- ◎ 地域別懇談会（本日）
- ◎ パブリックコメント など

さまざまな市民の参画機会を提供しながら、総合計画の策定を進めています。

瑞穂市第2次総合計画の 策定状況について



総合計画の策定体制

【庁内組織】

- ①策定委員会…計画策定の意思決定機関
- ②策定幹事会…各課レベルの計画素案策定
- ③プロジェクトチーム…計画全体の策定

【市民検討組織】

市民検討会議…計画の素案策定（官民協働）

【審議会】

総合計画策定審議会…有識者（学識、団体、専門）による審議、助言、提言

これまでの経過

- | | |
|-----------|---|
| 平成26年 9月 | 庁内策定組織の設置 |
| 平成26年10月 | 総合計画策定審議会の設置
(現在まで計6回開催：継続審議中) |
| 平成27年 2月 | 市民検討会議の発足
(全体会議4回、グループ別会議3回～5回：9月終了) |
| 平成27年 2月 | 市民アンケート実施
(平成27年5月市ホームページにて結果公表) |
| 平成27年 10月 | 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合
戦略策定
(平成27年10月市ホームページにて公表) |
| 平成28年 1月 | 総合計画（案）の策定 |

瑞穂市まち・ひと・しごと 創生総合戦略について

「地方創生元年」

- ・ 平成27年4月3日に総理大臣官邸で第5回まち・ひと・しごと創生本部の会合が開催された。
- ・ 安部総理は「本年は、地方創生元年です。地方の総合戦略の策定・実施が開始される地方創生を成功させ、我が国の人口減少に歯止めをかけるには、その取り組みをスピードアップさせなければなりません。」と述べ、2015年が「地方創生元年」であることを宣言した。

＜大きな目的＞
人口減少に歯止めをかける



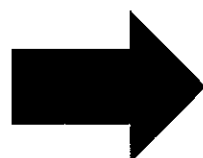
地方創生
戦略の策定・実施

人口減少の再認識

日本の人口

現在(2015年12月)

1億2660万人



将来15年後(2030年推計)

1億1661万人

将来35年後(2050年推計)

9708万人

1億人を割り、現在の人口から
約3000万人(23.3%)減少する

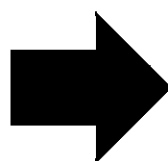
年齢区分別人口

将来推計人口【中位推計-合計特殊出生率1.35】					
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
総人口	12,806万人	10,728万人	8,674万人	5,727万人	4,286万人
老年人口 (65歳以上) 高齢化率	2,948万人 23.0%	3,868万人 36.1%	3,464万人 39.9%	2,357万人 41.2%	1,770万人 41.3%
生産年齢人口 (15~64歳)	8,174万人	5,787万人	4,418万人	2,854万人	2,126万人
年少人口 (~14歳)	1,684万人	1,073万人	791万人	516万人	391万人

今後人口減少が加
速度的に進行する
見込み

65歳以上人口(高齢化率)

現在(2014年1月)
65歳以上人口
3395万人
(26.8%)



将来35年後(2050年推計)
65歳以上人口
3768万人
(38.8%)

2050年には、国民2.5人に1人が65歳以上・
国民4人に1人が75歳以上になる

まち・ひと・しごと創生法

目的（第1条）

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生（※）に関する施策を総合的かつ計画的に実施する。

※まち・ひと・しごと創生：以下を一体的に推進すること。

まち…国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

ひと…地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

しごと…地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

公布日：平成26年11月26日

施行日：平成26年12月2日

15

まち・ひと・しごと創生（国の戦略）

長期ビジョン

中長期展望（2060年を視野）

I. 人口減少問題の克服

◎2060年に1億人程度の人口を確保

◆人口減少の歯止め

・国民の希望が実現した場合の出生率（国民希望出生率）＝1.8

◆「東京一極集中」の是正

II. 成長力の確保

◎2050年代に実質GDP成長率1.5～2%程度維持

（人口安定化、生産性向上が実現した場合）

総合戦略（2015～2019年度の5か年）

地方における住みよい雇用を創出する

- ◆吉良雇用創出数（地方）
2020年までの5年間で30万人
- ◆若い世代の正規雇用労働者の割合
2020年までに全ての世代と同水準
（15～34歳の割合：92.2%（2013年）
全ての世代の割合：93.4%（2013年）
- ◆女性の就業率：2020年までに73%
（2013年70.8%）

地方への新しいひとの流れをつくる

現状：東京圏年間10万人入超

- ◆地方→東京圏の転出入均衡（2020年）
・地方→東京圏転入 6万人減
・東京圏→地方転出 4万人増

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆安心して結婚・妊娠・出産・子育てで暮らす社会を達成している人の割合
40%以上（2013年度19.4%）
- ◆第1子出産前後の女性継続就業率
55%（2010年38%）
- ◆結婚希望実績指標：80%（2010年68%）
- ◆夫婦子ども数予定（2.12）実績指標
95%（2010年93%）

好循環を支える、まちの活性化

時代に合ったまちをつくり、暮らしを豊かにする

- ◆地域連携数など、地方版総合戦略を踏まえ設定

※目標数値は地方版総合戦略を踏まえ設定

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27年10月26日 策定

2015 (H27) ~2020 (H31) の5年間

瑞穂市人口ビジョン

ー2040年(平成52年)の将来人口を展望ー
◎人口の将来展望

★人口増加傾向の維持により減少までのピークをできるだけ遅らせる。

(2040年まで約54,000人を確保)

◎出生率を高める(合計特殊出生率)

2040年までに1.8を実現

- ・若い世代の婚姻率を高める
- ・子育て支援の充実
- ・教育の充実

◎社会増人口の確保

- ・年少人口の流出を抑制する
- ・大学通学層の市内就業、定住化を促す
- ・ファミリー形成期の世帯の定住を促す
- ・居住地としての魅力を高める

瑞穂市総合戦略

基本目標1「ひと」を育む
★若い世代が結婚や出産に希望をもち、子育てを楽しめるまちをつくる

年間出生数⇒725人[H31]

合計特殊出生率⇒1.64 [H31]

基本目標2「しごと」をつくる
★市内外に十分な雇用の場があり誰もがいきいきと感じて働くことができるまちをつくる

就業人口・労働力人口、就業⇒25,000人[H31]

事業所数⇒1,900 [H31]

基本目標3 安心して住み続けられる「まち」をつくる
★まちに誇りや愛着を感じながらいつまでも安心して暮らせるまちをつくる

住みやすさの評価・居住意向⇒「ずっと」+「当分は住み続けたい」の回答 60%

基本目標4「交流・にぎわい」を生み出す
★「交流・にぎわい」を生み出す

交流人口(観光・交流入込客数)⇒55,000人/年[H31]
地域ブランド創出件数⇒4件[H31]

2040年(H52)まで、54,000人を確保

総合計画と総合戦略の関係性

国家的課題と、まちの課題とで若干の違いはあるものの、目指す方向性は基本的に同じであり、人口減少の克服と自立したまちの維持に関する具体的施策や目標をまとめたものとして「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定

瑞穂市まち・ひと・しごと
創生総合戦略

瑞穂市人口ビジョン

瑞穂市総合戦略

人口減少の克服
自立したまちの維持
(国家的課題)

整合性

整合性

総合計画

自主自立を基本とする
責任ある行政運営を
進めるための指針

基本構想

基本計画【創】

実施計画

市の基本的な指針
となる最上位計画

瑞穂市の創生総合戦略施策の概要

「ひと」を育む

育

(1)若い世代の結婚・出産に関する意欲喚起

- ・若年層の結婚への意識啓発（公演会、セミナー等の開催）

(2)子育て支援

- ・放課後児童クラブ等の充実（子どもの受け入れ体制の充実）

(3)教育力の向上

- ・子どもたちの確かな学力向上（キャリア教育、ICT教育の実践）

「しごと」をつくる

(1)雇用・勤労者福祉

- ・創業支援（NPO設立支援、創業セミナー等の開催）

(2)商工業の活性化

- ・穂積駅周辺の活性化（利用意向把握、新規出店者支援）

(3)農業の振興

- ・みずほブランドの創出（富有柿を生かした加工品などのリ・ブランド化、情報発信）

活

安心して住み続けられる

「まち」をつくる

住

(1)人口定着のための住宅・宅地の確保

- ・空家の利活用促進（空家調査など）

(2)公共交通の充実

- ・コミュニティバスの利便性向上

(3)安心な生活環境の確保

- ・安全な地域環境の確保（消防団員確保）

(4)地域福祉、医療体制の充実

- ・地域包括ケア情報ネットワーク構築（高齢者データベース構築）

安

「交流・にぎわい」を生み出す

(1)観光力の向上

- ・地域資源を活用した観光振興（中山道や美江寺宿、特産品などを観光資源として活用）

(2)地域ブランドの創造・魅力向上

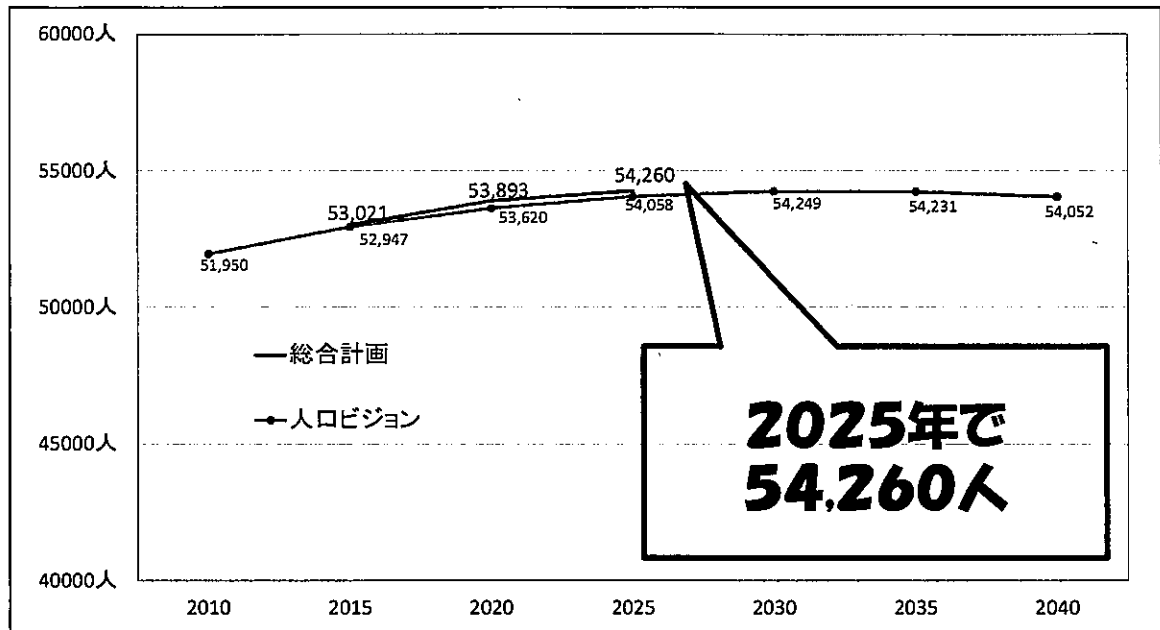
- ・ボウリング場を活用した地域活性化拠点創出（若者交流などにボウリング場を活用）

(3)移住促進

- ・移住・定住情報提供（移住・定住につながるまちの魅力情報発信サイトの構築）

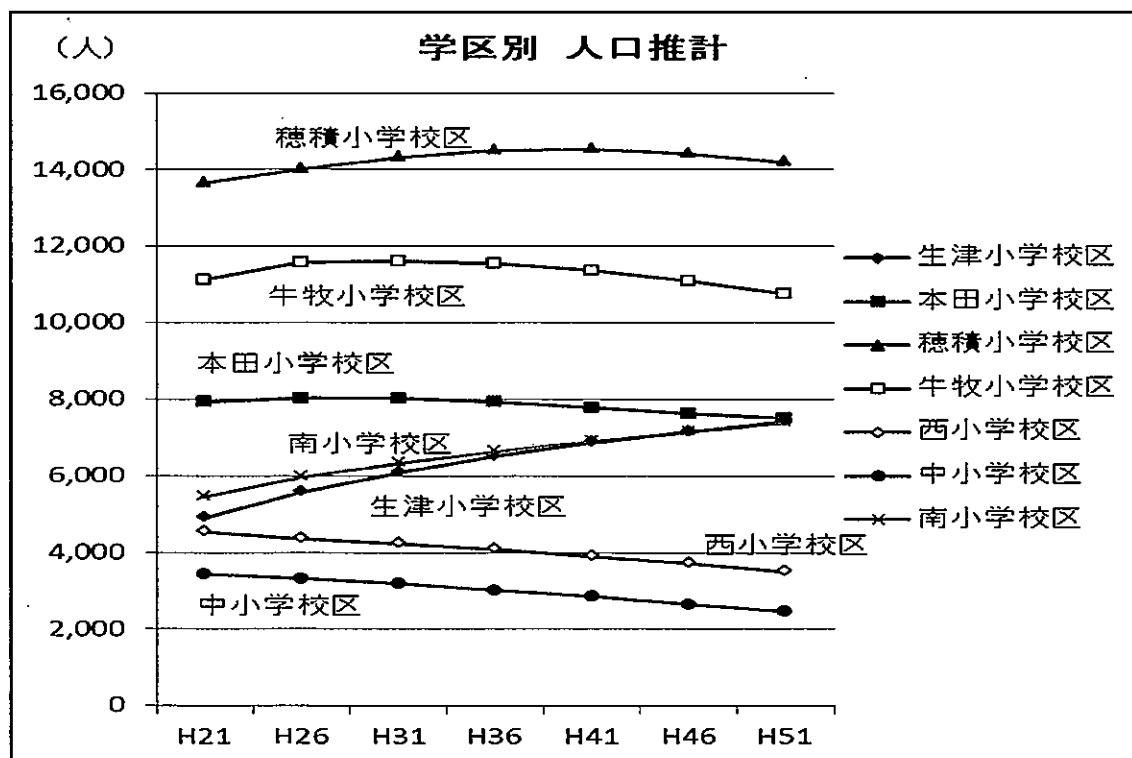
市の現状と課題

瑞穂市の将来人口(推計)

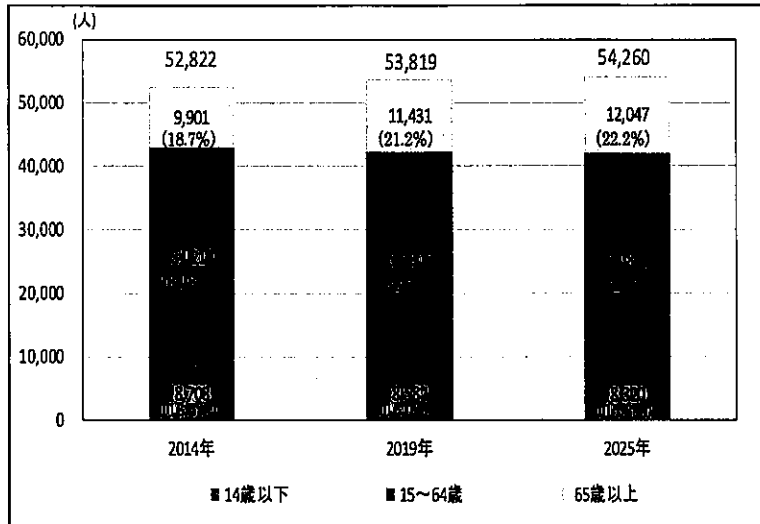


2015年 2025年 2040年
 53,021人 ⇒ 54,260人 (+1,239人) 54,052人

小学校区別の将来人口(推計)



瑞穂市の人口構成



- 2014年(H26) ⇒ 2025(H37)
- 65歳以上(高齢人口)は増加(+3.5%)
 - 15歳～64歳の生産年齢人口は減少(-2.3%)
 - 14歳以下(年少人口)は減少(-1.2%)

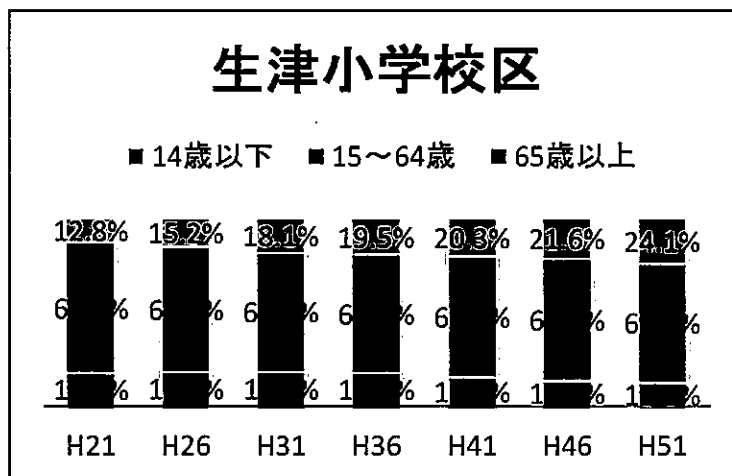
日本の高齢化率（65歳以上割合）は、

2014年（H26）で 26.0%

瑞穂市の高齢化率は、2014年（H26）で18.7%と、全国平均を6%以上下回っている。

<参考：全国 40位（2010年：全国平均 23.0% 瑞穂市16.3% 約1,800団体中）>

生津小学校区の人口構成



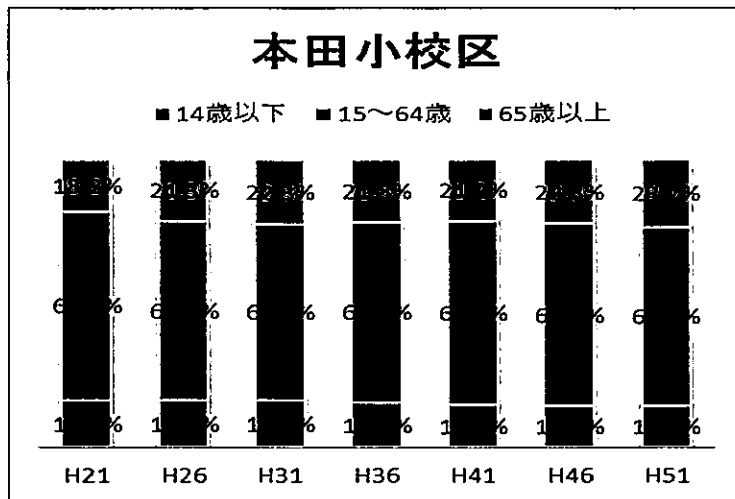
若い方が多い、市内で最も人口が伸びている地域

2014年（H26） ⇒ 2025年（H36）

< 65歳以上の人口（高齢人口） >
 15.2% ⇒ 19.5% (+4.3%)

< 14歳以下の人口（年少人口） >
 18.4% ⇒ 17.9% (-0.5%)

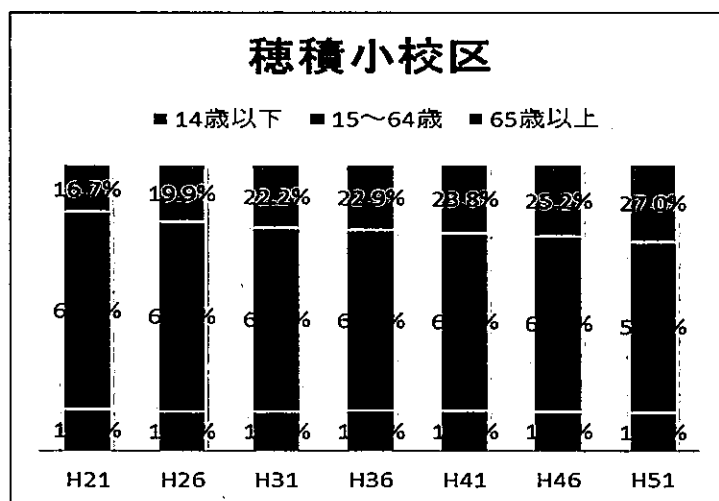
本田小校区の人口構成



全体的に変動が
少ない比較的安
定した地域

2014年 (H26) ⇒	2025年 (H36)
< 65歳以上の人口 (高齢人口) >	
21. 3%	⇒ 21. 8% (+0. 5%)
< 14歳以下の人口 (年少人口) >	
16. 2%	⇒ 15. 7% (-0. 5%)

穂積小校区の人口構成

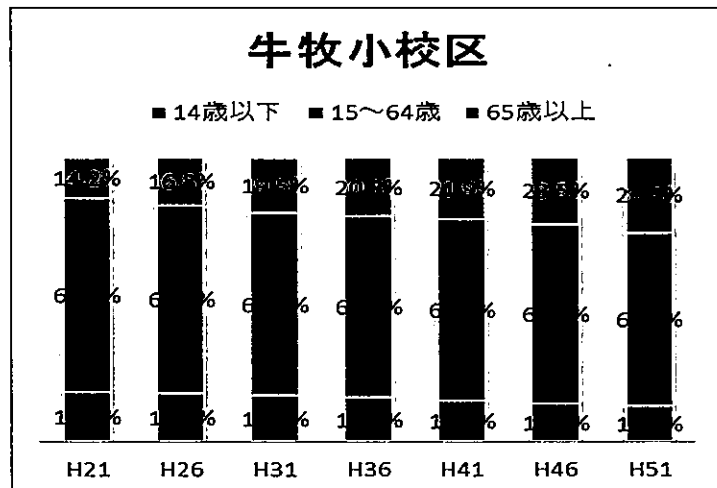


穂積小校区は、市の人
口の4分1を占める中
心地区

年少人口が今後もあ
まり減らない特徴があ
り、朝日大学の学生な
ど、外からの流入人口
が見込める

2014年 (H26) ⇒	2025年 (H36)
< 65歳以上の人口 (高齢人口) >	
19. 9%	⇒ 22. 9% (+3. 0%)
< 14歳以下の人口 (年少人口) >	
14. 2%	⇒ 14. 4% (+0. 2%)

牛牧小校区の人口構成

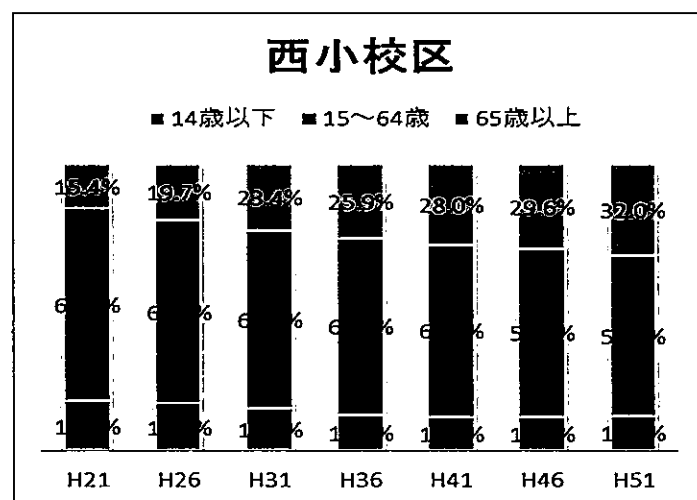


牛牧小校区は、市の人口の5分1を占める中核地区

少子高齢化が今後も進む傾向にある

2014年 (H26) ⇒	2025年 (H36)
< 65歳以上の人口 (老齢人口) >	
16.8% ⇒	20.8% (+4.0%)
< 14歳以下の人口 (年少人口) >	
17.2% ⇒	15.6% (-1.6%)

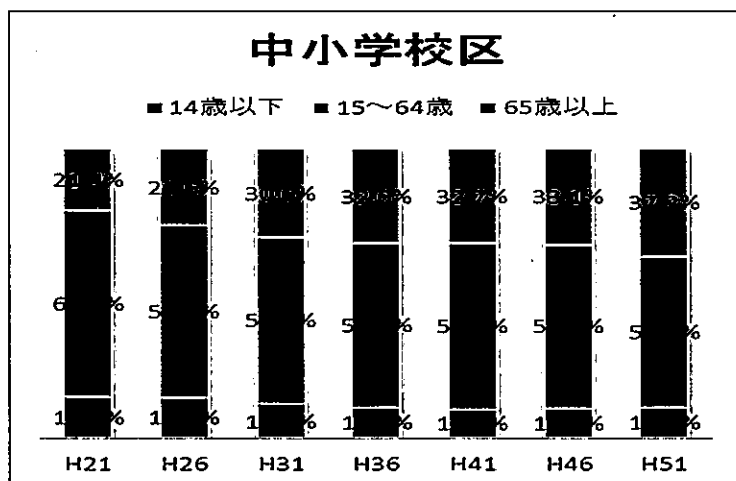
西小校区の人口構成



今後加速度的に少子高齢化が進行する見込み

2014年 (H26) ⇒	2025年 (H36)
< 65歳以上の人口 (老齢人口) >	
19.7% ⇒	25.9% (+6.2%)
< 14歳以下の人口 (年少人口) >	
17.2% ⇒	15.6% (-1.6%)

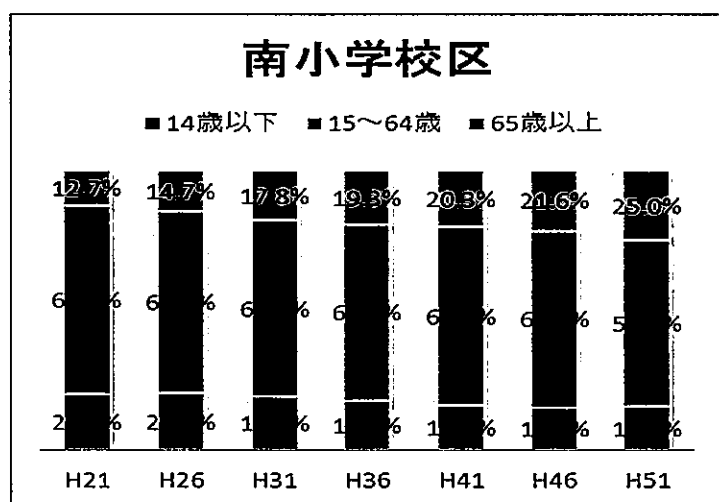
中小校区の人口構成



**今後加速度的に
少子高齢化が進
行する見込み**

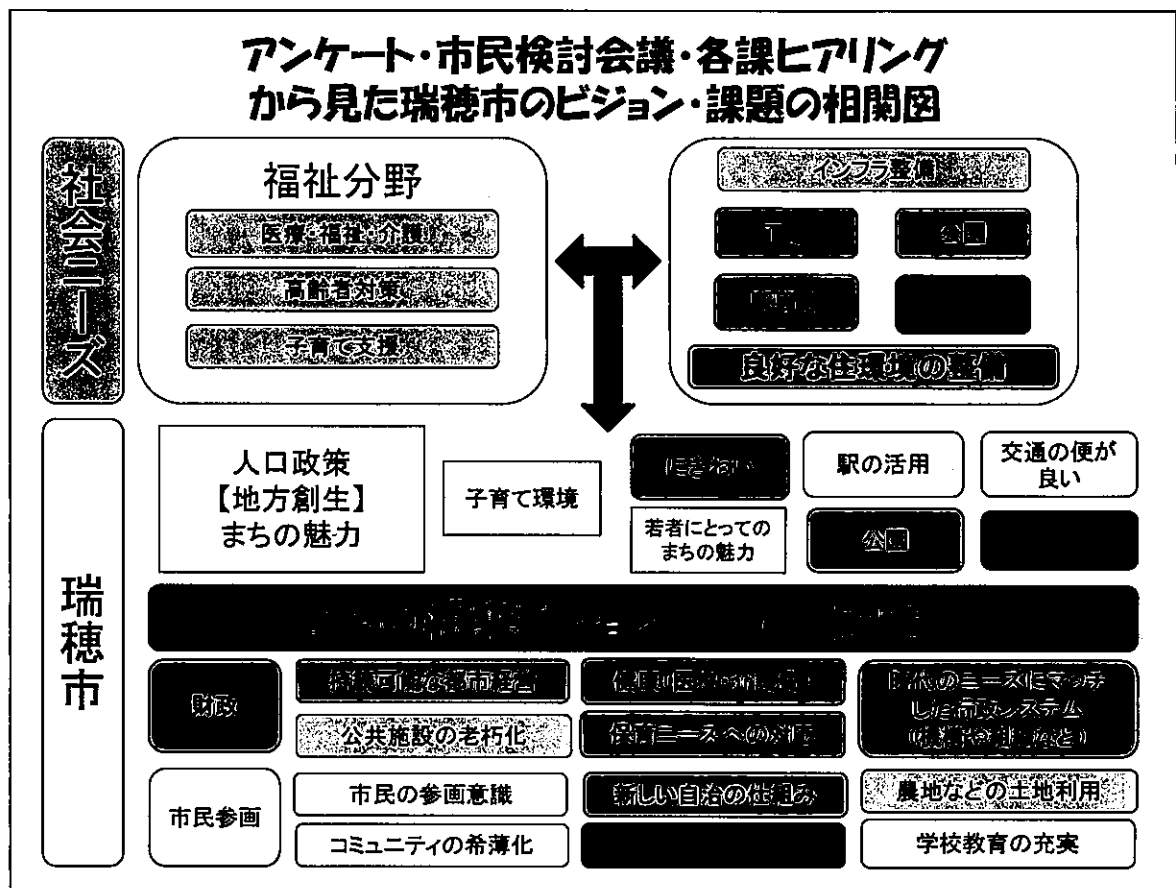
2014年 (H26)	⇒	2025年 (H36)
< 65歳以上の人口 (高齢人口) >		
26.6%	⇒	32.6% (+6.0%)
< 14歳以下の人口 (年少人口) >		
14.2%	⇒	10.7% (-3.5%)

南小校区の人口構成



**人口が伸びてい
る市内で最も若
い地域**

2014年 (H26)	⇒	2025年 (H37)
< 65歳以上の人口 (高齢人口) >		
14.7%	⇒	19.3% (+4.6%)
< 14歳以下の人口 (年少人口) >		
20.3%	⇒	17.7% (-2.6%)



瑞穂市の特性（まちの強み・弱み）

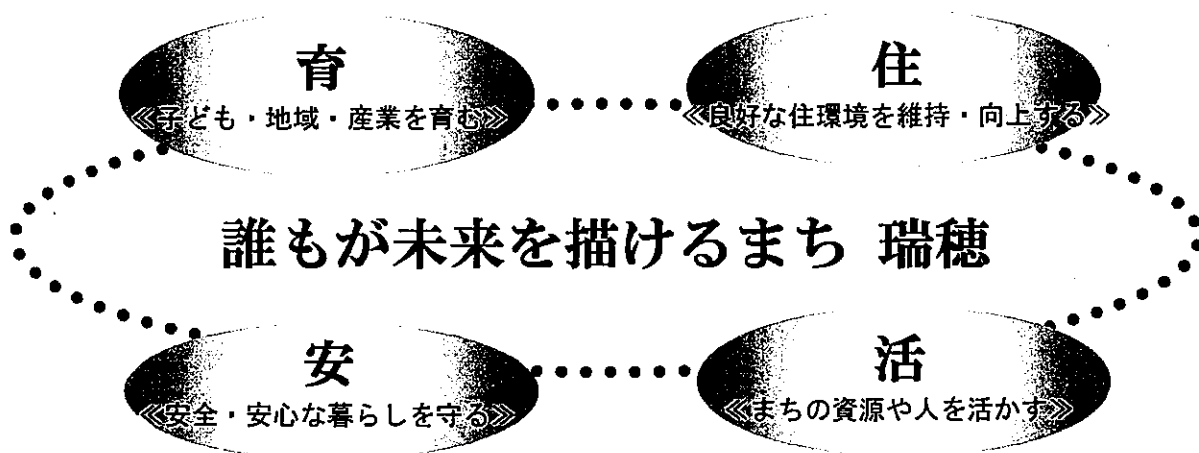
（強み）	（弱み）
●全国でも数少ない、人口増加都市 ●名古屋、岐阜などへの交通アクセスの利便性 ●朝日大学があり、若者が多い ●豊かな自然や緑 ●中山道、美江寺宿、呂久の渡し跡など地域の誇りとなる歴史・文化 ●富有柿発祥の地	●転入人口の増加による、コミュニティ形成と交流が希薄化 ●人口減少、高齢化が進む地域があり、地域活力差が生じている ●汚水処理対策（下水道等） ●子どもの預かりニーズが増大している（待機児童対策） ●まちの活力を牽引する大きな事業所や商業施設が少ない
など	など

まちの特性や資源を最大限に活かしながら、これからの時代にあったまちの姿を創造し、未来への目標を市民と行政が共有しながら、着実にその歩みを進めていくことが必要。

基本構想（案）について

基本構想（案）

① まちの将来像



市民一人ひとり 誰もが未来を描ける 環境を整えていく
「瑞穂を愛し」・「瑞穂を誇りに思い」・「瑞穂を育てる」
風土を一層高めていくこと。
・選択と集中により「育・住・安・活」の4つの視点を持つ
て魅力あるまちづくりを進めていきます。

② 目標人口

推計による値を上回るよう、一層のまちづくりの充実を目指すものとして、

平成2025（H37）年で **55,000人**

③ まちづくりの目標

（まちの将来像の実現に向けた6つの基本目標）

- 1 安全で安心して暮らせるまち
- 2 便利で快適に暮らせる美しいまち
- 3 心が通う助け合いのまち
- 4 夢あふれ希望に満ちたまち
- 5 活気あふれる元気なまち
- 6 持続可能な地域経営のまち

基本計画（案）について

基本構想

(まちの将来像)

誰もが未来を描けるまち 瑞穂



基本目標 1

【分野1】基礎事項の理解と活用

【基礎事項】
 ① 関数の定義
 ② 関数の値域と定義域
 ③ 関数のグラフ
 ④ 関数の性質
 ⑤ 関数の応用
 ⑥ 関数の逆関数
 ⑦ 関数の合成
 ⑧ 関数の極限
 ⑨ 関数の微分
 ⑩ 関数の積分

【基礎事項】
 ① 関数の定義
 ② 関数の値域と定義域
 ③ 関数のグラフ
 ④ 関数の性質
 ⑤ 関数の応用
 ⑥ 関数の逆関数
 ⑦ 関数の合成
 ⑧ 関数の極限
 ⑨ 関数の微分
 ⑩ 関数の積分

【重】…重点的取り組み

●基本目標ごとの取り組み課題の重要性を認識し、今後その解決に向けて分野の取り組みをリードしていく施策の位置づけ

【創】・・・環境まち・ひと・しごと創生
総合戦略＝（重点的取り組み）

基本目標 2

便利で快適に暮らせる美しいまち

〔分野3〕 都市基盤

【めざす姿】
 ・都市の発展と生活の向上、暮らしの快適に支障をきたさないまちづくりの実現

① 都市計画の総合的な方針に基づいた土地利用の促進
 ② 都市計画の総合的な方針に基づいた土地利用の促進
 ③ 都市計画の総合的な方針に基づいた土地利用の促進
 ④ 都市計画の総合的な方針に基づいた土地利用の促進
 ⑤ 都市計画の総合的な方針に基づいた土地利用の促進
 ⑥ 都市計画の総合的な方針に基づいた土地利用の促進

〔分野4〕 交通基盤

【めざす姿】
 ・利便性、安全性と経済性が高い道路等公共空間が充実したまち

① 道路ネットワーク網の整備
 ② 公共交通の持続的な向上
 ③ 公共交通の持続的な向上
 ④ 公共交通の持続的な向上
 ⑤ 公共交通の持続的な向上
 ⑥ 公共交通の持続的な向上

〔分野5〕 上水道・下水道

【めざす姿】
 ・安全でおいしい水がいつでも供給され、環境衛生が確保されるまちの実現

① 上水道の整備
 ② 下水道の整備
 ③ 上水道の整備
 ④ 下水道の整備
 ⑤ 上水道の整備
 ⑥ 下水道の整備

〔分野6〕 商業・衛生環境

【めざす姿】
 ・環境安全、環境保全が実現されたまち

① 環境・衛生環境の改善
 ② 環境・衛生環境の改善
 ③ 環境・衛生環境の改善
 ④ 環境・衛生環境の改善
 ⑤ 環境・衛生環境の改善
 ⑥ 環境・衛生環境の改善

第3章 目標	
心が通う助け合いのまち	
【分野7】 地域コミュニティ	
【めざす姿】	住み慣れたまちをより住みやすい、協力する、あたたかいコミュニティのまち
(1) 高齢者参加促進 (2) 次世代育成支援事業推進の推進 (3) 地域社会の多世代交流の促進	
【分野8】 高齢者福祉	
【めざす姿】	住み慣れたまちで生きがいを持ち、健康で安心して暮らす高齢者のまち
(1) 地域福祉推進アクションプランの推進 (2) 認知症ケアシステム構築推進計画の推進 (3) 高齢者の生きがいの支援 (4) 介護予防の推進 (5) 介護保険の推進 (6) 介護人材確保	
【分野9】 地域福祉	
【めざす姿】	地域で支え合い、寄り添って生活できるまち
(1) 地域で支え合い、寄り添って生活できるまち (2) 災害対策 (3) 災害対策 (4) 災害対策	
【分野10】 障がい者福祉	
【めざす姿】	共に生き、心が通うまち
(1) 障がい者福祉 (2) 障がい者福祉 (3) 障がい者福祉	
【分野11】 児童福祉	
【めざす姿】	次世代を担う子どもたちが伸び伸び成長するまち
(1) 児童福祉の推進 (2) 児童福祉の推進 (3) 児童福祉の推進	
【分野12】 社会福祉	
【めざす姿】	困窮する民衆が支えあえるまち
(1) 社会福祉の推進 (2) 社会福祉の推進 (3) 社会福祉の推進	
【分野13】 健康・医療	
【めざす姿】	こころも体も健康で市民が暮らしやすいまち
(1) 健康増進 (2) 健康増進 (3) 健康増進	
【分野14】 人口・地域（一部別掲）	
【めざす姿】	人口が暮らしやすいまち
(1) 人口の増加 (2) 人口の増加 (3) 人口の増加	

基本目標 4

夢あふれ希望に満ちたまち

【分野15】子育て支援

【めざす事】

・夢心に子育てができるまち

①（1）育休取得率の向上、休職制度
の充実（子育て支援課の課長、子育て支援係）

②（2）子育て支援課への充実

③（3）子どもの居場所づくり

【分野16】生涯教育

【めざす事】

・地域の誇りと愛着をもった、グローバル社会を生き抜く人材を育成する

①（1）認定こども学習づくりの推進

②（2）生涯学習者人口の増加（生涯学習課、生涯学習推進課）

③（3）活用可能な市民や事業者の協力の推進

④（4）外国人労働者の技能の向上

⑤（5）外国人労働者の生活の充実

⑥（6）国際理解の推進

⑦（7）地域国際化の推進

【分野17】生涯学習・地域文化

【めざす事】

・夢びや希望、地域を大切にしたい者、スポーツが
したくなる魅力が湧きあふれるまち

①（1）施設にふさわしい音楽活動の推進

②（2）地域の民芸活動の推進

③（3）文化・文化芸術活動の推進

④（4）スポーツの推進

⑤（5）生涯学習活動の推進・活用

[illegible][illegible]

瑞穂市人口ピシヨソ

●人口の将来展望
2040年(平成52年)まで
55,000人を確保
・出生率(合計特殊出生率)1.8
・社会増人口の確保

瑞穗市綜合戰略

●基本目標

- 1 「ひと」を育む
- 2 「しごと」をつくる
- 3 安心して住み続けられる「まち」をつくる
- 4 「交流・にぎわい」を生み出す

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略
2015(H27)～2020(H32)

第2次総合計画における重点施策(案)

■重点施策一覽

分野		施策	分野		施策	分野		施策	主な事業・施策概要			
治水・防災		○消防団員の確保	医療・健康	○健（験）診体制の充実と医療適正化の推進	財政運営	教育	○魅力ある情報発信	○情報発信事業（東京） 若い世代への関心をもつための情報発信を実施します。また、市が提供する情報と市民が創出した情報との両方を活用し、新たな情報発信手段を取り入れながら魅力発信を図ります。				
		○災害に強い住環境の整備		子育て支援				○子ども預かり施設の拡充・体制整備	○行政評価の充実と推進	○市民の参加・参画促進の充実	○まちづくり推進事業（参加・参画の促進） 市民が積極的に参加・参画を促し、アイデアや意見の反映を促進するため、市民がそれぞれの立場でまちづくりに関わっていくためのステップアップの仕組みを多岐にわたる事業で展開し、あ・いちでも多岐にわたる施策と連携を進めます。	
都市基盤	○駅周辺の活性化	学校教育	○安全・安心な学校づくりの推進	○組織体制の強化と人材育成				○公共施設等の適正管理	○まちづくりの思い手育成	○まちづくり推進事業（思い手育成） 地域を良くしていくために市民ボランティアでできることを考え活動することによって、市民の意識やスキルを向上させることによる市民活動の活性化や、まちづくり活動を行う組織への育成支援などにより、まちづくりの思い手育成を進めます。		
				○豊かな学力の定着を図る教育の推進							○行政サービスの質向上推進事業 情報システム等の活用による、市民サービスの効率化を図り、ワンストップ行政サービス（総合窓口）を推進します。また、マンパワー制を導入し、電子化での効率化を図る行政サービスの拡充を図ります。また、市民サービス窓口の電子化を図ります。	
下水道	○汚水処理施設の整備			○グローバル化対応教育の推進			○広域行政の推進			○行政サービスの情報化推進	○情報セキュリティ体制の強化 情報セキュリティ対策委員会を設置し、体系的に取り組む「防犯性セキュリティマネジメント」の取組を推進し、組織的なセキュリティ対策の推進を図ります。また、組織的なセキュリティ対策の推進を図ります。	
		高齢者福祉	○地域包括ケアシステムの構築	農業			○特色ある「瑞穂農業」の促進	○計画的な財政運営	○適正な受益者負担と公有財産の管理	○歳入の確保		○新地方公会計制度の導入・推進
商工業	○穂積駅周辺地域の商業活性化											
				○新たな賑わいの創出			観光・交流					
	○介護人材の育成		○地域資源のブランド創出・魅力向上									

施策のポイント ①

(1) 重点化の4つの視点

「育」（子ども・地域・産業を育む）

「住」（良好な住環境を維持・向上する）

「安」（安全・安心な暮らしを守る）

「活」（まちの資源や人を活かす）

(2) まちの特性や資源を活かした政策

全国でも数少ない人口増加都市、交通の利便性（穂積駅）、朝日大学、若い活力、中山道や富有柿などの地域の資源や特性
＜瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略における施策が中心＞

- 穂積駅周辺地域の活性化
- 地域ブランドの創出（まちの魅力を引き出す）
- 新たな賑わいの創出（地域活性化拠点イベント）

施策のポイント ②

(3) 暮らしを守り、人を育む施策

- 地域包括ケアシステムの構築
- 子どもの預かり施設の拡充・体制整備
- グローバル化対応教育の推進
- 汚水処理施設の整備（公共下水道事業）

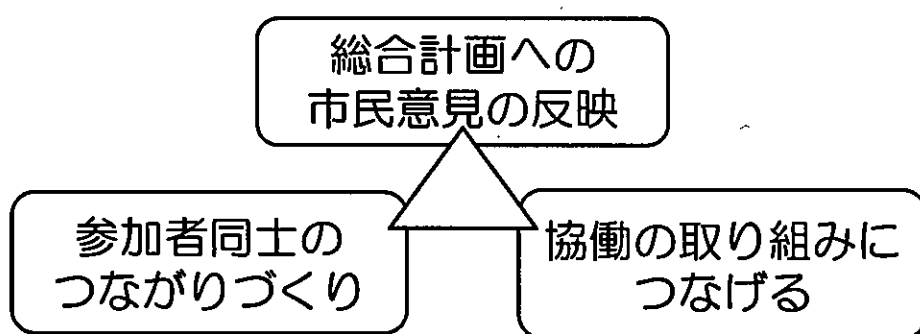
(4) 持続可能な都市経営に向けた共通施策

- 総合計画の推進（進行管理、評価、見直し）
- 計画的な財政運営（中期財政計画）
- 公共施設等の適正管理（公共施設等総合管理計画）
- まちづくり（参画・協働）の推進
- 情報化推進（マイナンバーなど行政サービス向上）
などの施策を展開します。

第2部

～地域から瑞穂の未来を考える～ ワークショップ（意見交換）

3つの目的



まちの未来を市民も行政もみんなで考え、まちづくりを進めていくため、地域住民の皆様のご意見をいただくとともに、協働による新たなまちづくりをスタートするきっかけづくりにつなげることを目指します。

ワークショップとは…

ワークショップは、先生や講師から一方的に話を聞く会議ではなく、参加者が対等な立場で主体的に議論に参加したり、言葉だけでなくからだやころを使って体験したり、参加者相互の意見により刺激し合い、学び合う、グループによる検討方法です。

ワークショップのルール

ルール1 相手の意見を尊重しましょう！

ルール2 思いつきでも、とにかく声に出しましょう！

ルール3 1回の発言はできるだけ短く、みんなが発言できるようにしましょう！

具体的な流れ

1. 話し合うテーマを決めます。

**2. 司会者を中心に意見を出し合います。
(意見をフセンにまとめ、模造紙に貼る)**

**3. 似ている意見を分類し、全体の意見を
まとめます。**

**4. 全体発表
(話し合いの結果をみんなで共有)**

ワークショップのテーマ

**1. 地域の現状や身近な課題や問題
(2つ～3つにまとめる)**

2. 1. の課題や問題などの解決方法

3. 解決に向けて、あなたがこれからできることは？

**4. 全体発表 (15分程度)
(話し合いの結果をみんなで共有)**

**まちの未来を考え、行動し、
“誰もが未来を描けるまち 瑞穂”
を一緒につくっていきましょう！**



お疲れさまでした。

アンケートにご協力をお願いします。



基本構想

誰もが未来を描けるまち 瑞穂

(まちの将来像)

基本視点



基本目標 1	
安全で安心して暮らせるまち	
【分野1】 治水・防災	【めざす姿】
・災害などに対する対応力が強化され、安心して暮らせるまち	
(1)防災体制の充実 ○ハザードマップの更新及び地域防災計画の改定 (2)地域防災力に防災意識の向上 ○各種防災訓練、研修等の実施 (3)消防団員の確保 ○団員確保対策(PR)の実施【創】 (4)治水対策の推進 ○牛牧排水機場整備事業 (5)災害に強い住環境の整備 ○建築物等耐震化促進事業【重】	
【分野2】 防犯・交通安全	【めざす姿】
・犯罪を起こさない、交通事故の少ない安全・安心なまち	
(1)防犯・交通安全教育 (2)防犯環境の充実 (3)青少年の活動環境拡大 (4)自転車盗難防止 (5)交通安全施設等の設置 (6)消費者行政の推進	

基本目標 2	
便利で快適に暮らせる美しいまち	
【分野3】 都市基盤	【めざす姿】
・豊かな自然調和した、誰もが快適に生活できるまち	
(1)市全体の総合的かつ計画的な土地利用の推進 ○都市計画マスタープランの見直し (2)駅周辺の活性化 ○JR穂積駅周辺活性化事業【創】 (3)駅前商店街活性化事業【創】 (4)集いの場整備 (5)空き等対策の推進 (6)景観計画の策定・推進	
【分野4】 交通基盤	【めざす姿】
・利便性・安全性や防災性が高い道路や公共交通が果たすまち	
(1)道路ネットワーク網の整備 (2)公共交通の利便性向上 ○地域公共交通網形成計画 (3)市内幹線道路・生活道路の整備	
【分野5】 上水道・下水道	【めざす姿】
・安全でおいしいきれいな水が供給され、環境衛生が保たれるまち	
(1)水道水の安定供給 (2)老朽配水管の更新整備 (3)汚水処理施設の整備 (4)公共下水道事業【重】 (5)汚水処理施設の維持管理	
【分野6】 自然・衛生環境	【めざす姿】
・環境保全、循環型社会が確立されたまち	
(1)取集・回収拠点の充実 ○廃物排出交換体制整備事業 ○資源回収拠点整備事業 (2)不法投棄等の防止 ○不法投棄防止推進事業 (3)生活に身近な環境の美化 ○環境美化教育及び啓発事業	

基本目標 3	
心が通う助け合いのまち	
【分野7】 地域コミュニティ	【めざす姿】
・地域みんながつながり、協力する、あたたかいコミュニティのまち	
(1)自治会加入促進・(2)校区自治会連合組織の設立等 支援・(3)地域の多様な世代間交流の促進	
【分野8】 高齢者福祉	【めざす姿】
・住み慣れた地域で生きがいを持ち、健康で安心して暮らせるまち	
(1)地域包括ケアシステムの構築 ○介護人材育成事業【創】 (2)高齢者の健康・生きがいづくり (3)認知症対策の推進・(4)介護予防・(5)老人福祉計画 (6)老人保護措置	
【分野9】 地域福祉	【めざす姿】
・地域で支え合い、安心して生き生きと暮らせるまち	
(1)地域で支え合う意識づくりと担い手づくり ○地域交流の場(ふれあいサロン)支援 (2)見守り支援体制の強化	
【分野10】 障がい者福祉	【めざす姿】
・共に生き、心が通うやさしいまち	
(1)暮らしの基盤づくり (2)自立と社会参加の促進 (3)障がい者にやさしいまちづくり	
【分野11】 児童福祉	【めざす姿】
・次世代を担う子どもたちが伸び伸び健全に成長するまち	
(1)児童福祉の充実 (2)子育て支援の充実 (3)子育て世代の意識に基づく地域社会の形成 (4)ひとり親家庭への支援の充実	
【分野12】 社会保険	【めざす姿】
・適切な支援がゆきとどくまち	
(1)生活困窮者自立支援事業の充実 (2)セーフティネット機能の維持 (3)国保、後期高齢者医療制度の適正な運営 (4)福祉医療助成制度の維持	
【分野13】 医療・健康	【めざす姿】
・こころも体も健康な市民が暮らし ・(2)健康・後期高齢者医療制度の適正な運営 (3)地域医療体制の充実 (4)地域における健康づくり活動の推進	
【分野14】 人権・平和 (一部再掲)	【めざす姿】
・基本的な人権が尊重され、責任を分かちあい、すべての人が笑顔あふれるまち	

基本目標 4	
夢あふれ希望に満ちたまち	
【分野15】 子育て支援	【めざす姿】
・安心して子育てができるまち	
(1)預かり施設の拡充、体制整備 ○子ども育ち施設・(2)子育て支援サービスの充実 (3)子ども居場所づくり	
【分野16】 学校教育	【めざす姿】
・地域への誇りと愛着を持った、グローバル社会を生き抜く人材を育てるまち	
(1)安全・安心な学校づくりの推進 ○いじめ被害等入校教育推進事業【重】 (2)特色ある学校づくりの推進 (3)様々な学びの定着を図る教育の推進 ○学力向上推進事業【重】 (4)グローバル化対応教育の推進 ○ICT教育推進事業【創】 (5)教員の資質向上と指導体制の充実 ○教員研修事業【重】 (6)教育環境の整備 (7)学校施設の環境美化	
【分野17】 生涯学習・地域文化	【めざす姿】
・学びや家庭・地域を大切にすると、スポーツを通じた地域の結びつきが強いまち	
(1)生涯にわたる学習活動の推進 (2)地域内の交流促進 (3)歴史・文化を活かしたまちづくり (4)生涯スポーツの推進 (5)生涯学習施設の維持管理・活用	

基本目標 5	
活気あふれる元気なまち	
【分野18】 農業	【めざす姿】
・優良な農地が確保、保全されたまち	
(1)特色ある「環境農業等」のPR ○PRサイト構築事業【創】 (2)農地の有効・活用・適正管理 ○農地賃借、集約化事業 (3)農業後継者の育成支援 ○経営体育成支援事業	
【分野19】 商工業	【めざす姿】
・商業施設が集まり、にぎわっているまち	
(1)穂積駅周辺地区の商業活性化 ○新規企業誘致支援事業 ○空き店・空き店舗等利用促進事業【創】 (2)企業誘致の促進 ○工業団地造成事業 (3)民間企業との協働型事業 (4)地域活性化包括連携事業	
【分野20】 観光・交流	【めざす姿】
・多様な交流機会があるにぎわいのあるまち	
(1)新たな賑わいの創出 ○民間施設・ボウリング場(活用)した地域活性化拠点創出事業【創】 (2)地域資源のブランド創出・魅力向上 ○地域ブランド戦略推進事業【創】 (3)「中山道」などの地域資源を生かした観光誘客 (4)既存イベントの充実	

共通目標	
持続可能な都市経営のまち	
【分野21】 行政運営	【めざす姿】
・マニフェスト体制が強化され、計画的な行政運営が展開されるまち	
(1)総合計画の進行管理 (2)行政評価の充実と推進 (3)組織体制の強化と人材育成 (4)公共施設等の適正管理 (5)広域行政の推進	
【分野22】 財政運営	【めざす姿】
・健全な財政運営のまち	
(1)計画的な財政運営 ○中期財政計画 (2)適正な受益者負担と公有財産の管理 (3)歳入の確保 ○ふるさと納税の推進 (4)新地方公営会計制度の推進 ○新地方公営会計制度の導入	
【分野23】 備 備	【めざす姿】
・市民が参加・参画する機会が充実し、すべての市民がお互いの立場を尊重し、信頼し、協力するまち	
(1)魅力ある情報発信 ○広報、ホームページの充実、ガイドライン策定 (2)市民参加・参画機会の充実 ○ワーキング・グループ・カフェ等の開催 ○参加・参画に関するガイドラインの策定 (3)まちづくり活動組織の育成・支援 ○まちづくり人材バンク、人材養成講座の開催	
【分野24】 情報	【めざす姿】
・行政情報が適正に管理され、行政サービスなど市民の利便性が向上したまち	
(1)行政サービスの情報化推進 ○行政サービス情報化推進事業 (2)情報セキュリティ体制の強化 ○情報セキュリティ対策事業	

瑞穂市総合戦略

基本目標

- 1 「ひと」を育む
- 2 「こと」をつくる
- 3 安心して住み続けられる「まち」をつくる
- 4 「交流・にぎわい」を生み出す

人口の将来展望

- 2040年(平成52年)まで
- 55,000人を確保
- ・出生率(合計特殊出生率)1.8
- ・社会増人口の確保

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

2015(H27)～2020 (H32)

「地域別懇談会」アンケート

本日は、お忙しなか、ご参加いただきありがとうございました。
本日の地域別懇談会について、ご感想をお聞かせください。



該当する箇所に☐印、またはご記入をお願いします。

問1 本日ご参加いただいた満足度を教えてください。

_____ %

問2 瑞穂市第2次総合計画（案）について理解できましたか？

☐よく理解できた

☐大体理解できた

☐あまり理解できなかった

☐理解できなかった

☐その他（

）

問3 『ワークショップ』という対話の手法をご存じでしたか？

☐参加したことがある

☐名前だけ知っていた

☐知らなかった

問4 本日は、思ったことを言えましたか？

☐充分言えた

☐言えた

☐あまり言えなかった

☐どちらでもない

問5 今後、参加されたいまちづくりのテーマがありましたら、お聞かせください。

今後、市民の皆様から今回のようなご意見をいただく場（ワールドカフェやワークショップなど）の開催を予定しておりますので、そういった機会にお声かけ（文書などで通知）させていただくことをご承認いただける方は、住所・氏名・連絡先をご記入ください。

住 所 _____

氏 名 _____ 連絡先 （ _____ ） — _____

ご協力いただき、ありがとうございました。